

海外農林業情報 No.81

TPP11 署名へ

1月22日から23日まで、東京において開催されたTPP11の参加国首席交渉官会合において、CPTPP（TPP11）の協定文が最終的に確定し、3月8日にチリにおいて署名式を行うことに合意しました。昨年11月の大筋合意の際に継続協議となっていた4課題のうち、マレーシアへの国有企業規制の適用と、ブルネイの石炭等に関するサービス・投資自由化については凍結で合意し、ベトナムの労働組合への規制とカナダの放送サービスについての文化的な例外については発効後の取扱いについて各国とその趣旨に関するレターを取り交わすこととなりました。これで、原TPP協定から凍結された項目は22となりますが、農業に直接関係するものはなく、日本の農水産物に関する関税譲許も原案のままとなりますようです。ただし、対米のコメ、肉の特別枠は発効することにはならないと思われま

す。協定は、11カ国中6カ国が国内手続を終えて、批准すれば発効することになります。我が国としては、2019年の発効を目指し、今後署名に向けた国内手続を進めるとともに、批准に向けて、CPTPP協定及び関連法案を今国会に提出すべく準備することとされております。

当初、カナダが、NAFTAを優先するために、TPP11の合意に消極的な態度を示し、署名から外れることもあると伝えられましたが、NAFTAに関する米国の姿勢が強硬なことを見て、むしろ、カナダのトルドー首相は、23日に世界経済フォーラム(ダボス会議)の演説の中で、「本日、カナダとTPP参加10カ国は東京でCPTPPの交渉が妥結したことを喜んで発表したい」と発言し、本協定が持続的成長と繁栄、中間層の職の創出という目的に合致する妥当なものであると述べ、この合意を歓迎する意向を示しました。NAFTAに関しては、第6回の交渉会議が1月23日から26日まで開催されましたが、本誌77号にも紹介しましたとおり、自動車の原産地規則や貿易収支改善が見られない場合の協定の終焉など米国が強硬な主張をしており、交渉は難航しているようです。ライトハイザー米国通商代表は、今回の会合終了後の声明において、「腐敗防止の章について交渉が終結し、他のいくつかの章についてもある程度進展があり、また最も難しい論点(原産地規則か)の議論に着手した点で前進したが、進み具合は非常にゆっくりである」と述べ、次回会合も3月末に設定されたこともあり、当初の3月一杯の妥結が事実上無理になったようです。3月一杯と言うのは、現在の米国の交渉権限授権法が6月に終了することとなっており、その3ヵ月前までに議会への報告が必要なため、この期限切れとなってしまうことを念頭に置いているようです。

他方、米国トランプ大統領は、ダボス会議出席のためのスイス滞在中に、フォーラムでの演説の前日に米国のテレビ局とのインタビューで「以前結んだものより十分によいものになれば」との条件付きですが、「TPPへの復帰を検討する」旨を表明したことが大きく報じられましたが、1月26日のフォーラムでの演説では、「個別の国々と2国間交渉をしていく」とし、「もし我々の利益にかなうならグループでも協議する用意がある」と発言しており、TPPへの復帰へと方針を変更したとは評価できないのではないかと思います。

<参考リンク>

TPP 首席交渉官会合結果概要 (平成 30 年 1 月 内閣官房 TPP 等政府対策本部)

http://www.cas.go.jp/jp/tpp/naiyou/pdf/tokyo1801/180123_tpp_tokyo_gaiyou.pdf

TPP11、3 月署名合意 (日本経済新聞、1/24 付)

<https://www.nikkei.com/article/DGKKZO26040920T20C18A1MM8000/>

Closing Statement of USTR Robert Lighthizer at the Sixth Round of NAFTA Renegotiations (USTR, 1/29 付)

<https://ustr.gov/about-us/policy-offices/press-office/fact-sheets/2018/january/closing-statement-ustr-robert>

NAFTA 再交渉 長期戦? (日本経済新聞、1/31 付)

<https://www.nikkei.com/article/DGKKZO2632534030012018FF2000/>

What's the deal with global trade? The view from Davos 2018 (World Economic Forum, 1/26 付)

<https://www.weforum.org/agenda/2018/01/davos-2018-trade-trump-tpp-nafta/>

Trump woos Davos with TPP trade deal shift, says U.S. is 'open for business' (Japan Times, 1/27 付)

<https://www.japantimes.co.jp/news/2018/01/27/business/economy-business/trump-woos-davos-tpp-trade-deal-shift-says-u-s-open-business/#.WnKkAOflgdU>

米、TPP 復帰検討 (日本経済新聞、1/26 付)

<https://r.nikkei.com/article/DGKKZO2616687026012018MM0000>

文責：藤岡 典夫

本情報のメール配信をご希望の方は、件名に『海外農林業情報配信希望』と記入した空 (から) メールを下記までお送り下さい。ご意見、ご感想もお待ちしております。 E-mail アドレス：deskb@jaicaf.or.jp
メールを送付された方には、確認メールをお送りします。送信後 2 週間以内に届かない場合は、お手数ですが 03-5772-7880 (担当：森・西野) までお電話下さいますようお願い申し上げます。なお、メール配信をご希望の方には、本ミニ情報のほか、セミナーのご案内等、当協会からのお知らせが届くことがありますので、併せてご了承下さい。

発行：(公社)国際農林業協働協会(JAICAF)

〒107-0052 東京都港区赤坂 8 丁目 10-39 赤坂 KSA ビル 3 階